

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic English for the Second Year II		
英文授業科目名	Academic English for the Second Year II		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 電子工学科 知能機械工学科 システム工学科		
担当教官名	山田 直道		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nymd@rg8.so-net.ne.jp	

【主題および達成目標】
ニュースメディアがとりあげる話題をまとめた教科書を用い、英字新聞が読めるよう、時事的な英語に習熟する。

【前もって履修しておくべき科目】
特に無し。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特に無し。

【教科書等】
開講予定の火曜日3時限、4時限とも、宮本倫好、伊藤典子編著、『1/2版：ニュースメディアの英語—演習と解説2008年度版—』（英文タイトル：The Half-Edition of English through the News Media）（朝日出版社、本体1100円）を使用。

【授業内容とその進め方】
話題性に溢れ、かつ時事的でもある興味深いトピックを読む授業。予め担当を割当て、その発表を全員で検討する。受講者は英語を正確に理解し、記事を書く記者の狙いを読み解くことが求められる。教科書は注釈付きの本文の前後に、語彙問題、まとめ問題、演習問題があり、総合的な時事英語の演習に効果があるよう編集されている。先を急がず丁寧に読み進む予定。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

3時限、4時限とも、出席点、レポーターとしての貢献度、積極的な質問などの平常点を30%、期末テストの成績を70%の割合とし、総合的に評価。評価基準は時事的な英語への習熟度に置く。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問は授業中に随時受け付ける。

【学生へのメッセージ】

予めレポーターと担当箇所を決めるので、担当者は必ず課題を果たすようにして欲しい。レポーターで欠席する諸君は折角の発表機会をものにできず勉強の機会を逸することとなる。予習は必須。授業で不明点を徹底チェックするようにして欲しい。

【その他】

特に無し。